

学科における教員養成に対する理念・構想

《国際地域学科》

初等教育，特別支援教育の基盤となる幅広い教養と知識および技能を身につけ，子どもの特性を的確に把握し，一人一人の子どもに応じた適切な教育計画を立案して指導・支援ができ，常に教職の専門性を高めることができる人材の育成を目的とする。特に，グローバル化する現代社会において必要な国際的視野や異文化理解及び外国語に関する内容を指導できる教員を育成する。あわせて，いじめや不登校等の問題で苦しんでいる特別な支援が必要な子どもたちに的確に対応することができる教員を養成する。そのために，附属学校園を活用して，地域社会における次世代教育にかかわる実践力の高い先導的な教員を養成する。

《芸術・スポーツ文化学科》

芸術とスポーツ教育の拠点として，その人材像に関して「芸術・スポーツ文化を多面的に追求し，地域の活性化及び文化振興に貢献できる人材を養成する」ことを掲げており，幅広い基礎知識と高度の専門的スキルを獲得し，地域社会のニーズに応えられる人材を養成するための教育システムを有している。また，芸術とスポーツをグローバルな視点で学ぶことのできる環境にある。これら充実した環境の中で，次世代を担う児童・生徒の健やかな心身の成長に寄与する教員養成に重点を置いている。